

福澤全集の刊行

福澤全集は今度福澤先生の子孫の爲め又朋友の爲めを
開りて今を去る三十八年前即ち萬延元年より明治二十
六年に至るまでの間に親しく筆を執りて著譯せられた
る許多の著類を蒐集刊行するものにして之を讀めば何
人とも開國以來日本文明の淵源を詳に知るを得
べし

未曾有の大著譯

福澤全集は無慮四五千頁に達する大冊なり其中に收め
たる書類は前後合して五十部、冊數百七冊にして毎部
發行の數は十萬乃至二十萬に達したるもの多けれども
價に多寡平均して毎部七萬部とすれば部數にて三百五
十萬部即ち七百四十九萬冊は日本人の目に觸れ西文移
植の大効を遂げたるものにして古來未曾有の大著譯と
云はざる可らず

福澤全集の緒言

全集刊行の企圖あると共に福澤先生は新に筆を染めて
嘗て先生が著譯に従事したる頃の時事事情及び一部毎
に之を著譯したる所以の來歴を説明して巻首に附する
書なり一篇通じて讀了すれば新舊變遷の波瀾に立たる
開國者の如何に大膽にして如何に効力ありしか固固
固に慣れたる國人の如何に開國者を遇して如何に其説
に耳を傾けたるか將た又先生が文を行き語を揮ふに如
何なる注意を爲したるか次第を追ふて漸く明かに開國
四十年來の奇絶快絶なる變遷は忽焉として讀者の眼前
に現はる可し

十一月一日より

即ち全集緒言は之を擇ば全集一部の緒言にして之を
併れば西文移植の活歴史なり新日本文明の最も重要な
時代の屬して最も興味あるものなれば本社が全集刊
行の前に當りて特に先生に請ひ來る十一月一日の紙上
より順次掲載して讀者の一覽に供せん

時事新報社

社説

怠慢か無能か

運轉交通事業の怠慢は我輩の毎度論じたる所にして
其不始末に二様の意味あり一は既設機關の運轉を滯
せしむるものと他は當に進行可き事業を進めざるよ
となり郵便の遲滞、配給等が即ち機關の運轉を全
うせざるものなり或は給料足らずして十分に人を雇
能はずとの口實もあらんかたれども既に政府が此事業
を取て自から任じたる上は何として其責を免れざる
のみならず運轉の如きは技術者の慣れざるが爲め
か運轉が多しして活なる通信は速も望む可らずと
云ふ元來此電信に付ては取扱人の用意もなく運轉
の後に至りて手続の遅延に着手したるは此の次第な
れば今日に於て運轉の不十分なるは固より其所在可
し而して運轉の遲滞に於て無責任を極め旅客貨物の取
扱、粗末運轉なるは前日來の紙上に記す通りにして只
果るもの外なれども是れは姑く別として措き更に
我輩の問はんと欲する所のものは鐵道の新設及び其改
良の事なり二十九年度の算定と決算とを對照するに其
年度の内に運轉結果を能はずして翌年度に繰越した
る金額は少なからず中には只一小部分を費したるに過ぎ
ざるものなり試みて其運轉を速る可し

八王子古馬場 10000000
小井田町 10000000
東京市 10000000
神奈川 10000000
山梨 10000000
長野 10000000
新潟 10000000
富山 10000000
石川 10000000
福井 10000000
岐阜 10000000
愛知 10000000
三重 10000000
滋賀 10000000
京都 10000000
大阪 10000000
和歌山 10000000
奈良 10000000
徳島 10000000
香川 10000000
高松 10000000
愛媛 10000000
高知 10000000
福岡 10000000
佐賀 10000000
長門 10000000
大分 10000000
熊本 10000000
鹿兒島 10000000
鹿児島 10000000
沖縄 10000000

伊藤侯の演説

一昨日王子の遊樂第一別荘に於て龍門社の第十九
回秋季總會を開きたるに伊藤侯を始め朝野知名の士
及び佛蘭人カン氏等招きに應じて來會せしもの三百
餘名、社長遊樂第二別荘の禮堂を述べ次に添田藩
一、遊樂第一別荘の演説ありたる後伊藤侯は二時間
餘に渉る長演説を爲したり其要旨左の如し
龍門社の事は今固始めて承知したる始末にて本會諸君
の多くは未だ面識なき人々なれども遊樂侯には二十六
七年間の交誼ありて斷る際にも行かず爲めに何の用意
なきにも拘はらず此處に一場の演説を爲すに至りたる
次第なり知らるる如く余は昨年官を辭し今は政治以外
に立ち關連自適讀書に就りて樂み居る身なれば今日の
演説が諸君を利するものと否とに拘らず總て是れ赤心實情
を吐露するものなり余は固より名を賣る事好まざる
ものなれば今日の演説の如き新聞などに掲載さるゝを
欲せず殊に政治の得失、政府の攻撃等の事柄を述べ
は余の良心の許さざる處なるを以て此邊は先以て一言
し置くものなり余の出身は先賢の引立と至孝の御信任
を得て今日あるに至りたるものなれば進退去就は常に
世人と共にするを得ず其開大に趣を異にするものあり
新て今に至りては政界を退きし人間此世に在る間は國
家とか社會とか同胞とか云へる事は一日も忘る能はざ
るものにして近來又務に思ふ處なきにあらざる今日其
所感を述べんと欲す

實あるは余の最も憂慮する所なり昨年臺灣より歸るや
大阪の有志者は是非に立寄りて何か話せとの事にて一
應は断りしに再三の懇望に已むなく四五時間を繰合せ
同地の自由亭に招かれたる當時大阪には築港を始め各
種の事業勃興し非常の人氣なりしが其計畫を聞くに何
れも過大に失したるの感ありしが余は席上此事に就
て注意せんとせしめ夫れは甚だ人氣に降る故見合せて
賞ひたしとの事なるに依て其別席に於て三十人許の
人々に對し話す所ありたり其要領は日本は戰爭にて財
力を消費する所ありたり増加したるなし然るに戰後
急に各種の事業を起すは所謂財力に相應せざるなきや
獨逸の例に徴するも普佛戰後同國が事業勃興の過大
に苦しみたるは明かにして只歐洲諸國の資本は各國共
通なるが爲め獨逸は其苦痛を回復し得たるも日本の形
勢は資本なるものに對しては全く鐵國主義を取り歐
洲諸國と全く其趣を異にせりされば日清戰爭は幸に
日本の自力にて遂げられたるに於て今後外資を輸入す
べき餘地あるも前述の如き形勢にして然かも是等に對
する何等の算なく只人氣の作用に出でたる事業の勃興
は畢竟するに驚ると云へる事なり斯の如き有様には前
途甚だ思ひ遣ふに於て後悔せぬ様にせられたしと注
意し置きたり其後本年一月大震中神戸に起きたる大
阪の有志者來り余に向て昨年演説されし結果は今日早
く既に事實に現はれ來りたりと言へり余は之に向て斯
程の反動は決して驚くべきものにあらず今後注意せざ
れば一層恐るべきものあるべしと答へ置きたり商業上
のみならず余が政府に立ちし際海陸軍の要求は實に巨
大なるものなり尤も軍備なるものは只經濟上よりの
み論じ得べきにあらずして所謂防禦的又は不慮に備ふ
るなき云へる事を諷刺せざるを得ざれば余は此要求に
對して下の如く答へたり即ち余は諸君の計畫を破らん
と欲するものにあらずされども國家の經濟に伴はぬ事は
到底實行し得られざるものなれば遂に之を半減し
て議會に提出せり當時隨分色々の議論ありしが漸く折
合を付け尙ほ其後事の如何に成行くやと見定め善々計
畫を立てて之を進行せしむる筈なりしも外交當局者病
に罹り尙ほ他は諸君の議論起りたるが爲め責任を帯
びて朝に立つは不智策なりと考へ遂に辭職引退するに
至りたるなり

只今遊樂侯の演説中に日本の財力が今日の政費に伴ふ
や否やを疑はれたるが其財力なるものは何によりて之
を決定し得らるるや日本には未だ是等の事に關し統計
の徴すべきものなれば人民の實力は之を知るに難し
外國にては是種の統計あれども其國方は國々によりて
異なる處ありて完全に調査するは實に容易の事にあらず
米國は十年毎に人口と財力とを取調べ來りたるが之
によりて之を見れば鐵國の當時は人口値に三百萬其財
力七億にして平均一尺八十寸の實力を有したるも
千八百八十年に至りては人口六千萬人此財力七百七十
億にして平均一尺八寸に増加せり又以太利は現今
一人の財力八百弗位にして之に對照すべき國債は一人
平均百五十弗を負擔し居り斯の統計は國家の歳出入
を決定する上に就て非常に必要なるものなれば歳出
入の事たるに統計及び學理のみによりて左右し得べ
きものにあらず即ち其國の事情に鑑みて已むを得ざる
場合に應ずるもあり一概に論じ得べきにあらずれども

現に角事の標榜を
調査すべき事な
る處なれども一
より割出し是れ
て何程の利益あ
り此等の經濟が
戰後計畫したる
止まるべきもの
る者あるべし
れば致方なきを
至るものなれど
きものに非ず外
當りては極めて
一に若目する處
のみにては外資
之事實に於て示
責任を引當てに
私の關係に止る
には結局裁判に
を盡し其利益を
をふは容易に
は思ふに條約改
日清戰爭の結果
戰爭の文明主義
所なれども日本
りたるものにあ
法を究め外資の
らざるに近時教
きにあらず小學
てはならぬと云
主義は終始變ぜ
は最も多く歐洲
にも拘はらず歐
洲社會の進歩は
にも其他總ての
力の進みたるが
にも常に重きを
して決して獨立
迫りたる今日に
ものなきにあ
ては日本に入
無智の百姓など
は公使に訴へ出
れば能く注
るも日本が文明
に出でたるもの
掛けるべからず
喜ぶと同時に實
り戰後日本人民
は米國海岸に移
徒は實に實生
も勝手なりと放
も皆閉じ居るの
各所に起り容易
するは全く教育

東京市 10000000
神奈川 10000000
山梨 10000000
長野 10000000
新潟 10000000
富山 10000000
石川 10000000
福井 10000000
岐阜 10000000
愛知 10000000
三重 10000000
滋賀 10000000
京都 10000000
大阪 10000000
和歌山 10000000
奈良 10000000
徳島 10000000
香川 10000000
高松 10000000
愛媛 10000000
高知 10000000
福岡 10000000
佐賀 10000000
長門 10000000
大分 10000000
熊本 10000000
鹿兒島 10000000
鹿児島 10000000
沖縄 10000000

東京市 10000000
神奈川 10000000
山梨 10000000
長野 10000000
新潟 10000000
富山 10000000
石川 10000000
福井 10000000
岐阜 10000000
愛知 10000000
三重 10000000
滋賀 10000000
京都 10000000
大阪 10000000
和歌山 10000000
奈良 10000000
徳島 10000000
香川 10000000
高松 10000000
愛媛 10000000
高知 10000000
福岡 10000000
佐賀 10000000
長門 10000000
大分 10000000
熊本 10000000
鹿兒島 10000000
鹿児島 10000000
沖縄 10000000

東京市 10000000
神奈川 10000000
山梨 10000000
長野 10000000
新潟 10000000
富山 10000000
石川 10000000
福井 10000000
岐阜 10000000
愛知 10000000
三重 10000000
滋賀 10000000
京都 10000000
大阪 10000000
和歌山 10000000
奈良 10000000
徳島 10000000
香川 10000000
高松 10000000
愛媛 10000000
高知 10000000
福岡 10000000
佐賀 10000000
長門 10000000
大分 10000000
熊本 10000000
鹿兒島 10000000
鹿児島 10000000
沖縄 10000000

東京市 10000000
神奈川 10000000
山梨 10000000
長野 10000000
新潟 10000000
富山 10000000
石川 10000000
福井 10000000
岐阜 10000000
愛知 10000000
三重 10000000
滋賀 10000000
京都 10000000
大阪 10000000
和歌山 10000000
奈良 10000000
徳島 10000000
香川 10000000
高松 10000000
愛媛 10000000
高知 10000000
福岡 10000000
佐賀 10000000
長門 10000000
大分 10000000
熊本 10000000
鹿兒島 10000000
鹿児島 10000000
沖縄 10000000